

2017年度第2回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 2017年8月2日(水) 13:30~17:00
2. 場所 建築会館会議室 202号
3. 出席者 井戸田秀樹, 五十嵐規矩夫, 田中剛, 一戸康生, 宇佐美徹, 松本由香(岡崎太一郎 代理), 岡本哲美, 尾崎文宣, 木村祥裕, 向野聡彦, 澤本佳和, 下川弘海, 田川泰久, 多田元英, 中込忠男, 成原弘之, 西山功, 緑川光正, 見波進, 山田哲, 兼光知己(記録)
欠席: 越智健之, 笠井和彦, 竹内徹, 津田恵吾, 原田幸博
4. 資料(ストレージサーバ)
 - 02-01 議事予定(井戸田主査)
 - 02-02 2017年度第1回鋼構造運営委員会議事録(案)(兼光)
 - 02-03-1 構造委員会資料(井戸田主査)
 - 02-03-2 構造委員会メモ(兼光)
 - 02-03-3 構造委員会資料(委員長就任にあたって)(井戸田主査)
 - 02-04 座屈小委員会(木村委員)
 - 02-05 接合小委員会2017年度第1回議事録案(山田委員)
 - 02-06 素材小委員会(見波委員)
 - 02-07 環境小委員会(兼光)
 - 02-08 塑性設計小委員会(五十嵐幹事)
 - 02-09 鋼構造設計規準改定小委員会(田川委員)
 - 02-10 英文化小委員会(岡崎委員)
 - 02-11 各種アンカーボルト設計WG(田川委員)
 - 02-13-1 災害委員会資料(2017.6.21)(五十嵐幹事)
 - 02-13-2 災害委員会メモ(兼光)
 - 02-14 2017年度大会PD(多田委員)
 - 02-15 2018PD資料 usami(宇佐美委員)
 - 02-16 重点審議_環境小委員会(兼光)
 - 02-17 質疑回答(五十嵐幹事)
 - 02-18 若手優秀発表賞について(井戸田主査)
5. 議事内容
 - (1) 前回議事録の確認
 - ・資料02-01に基づき, 兼光より, 前回議事録案の説明があり, 承認された。
 - (2) 構造本委員会の動き

- ・資料 02-02-1～2 に基づき、井戸田主査から構造本委員会の報告があった。
- ・2018 年度開始特別研究委員会設置提案は各自が申請する（運営委員会で審議しない）
- ・下記出版物の絶版伺いについては、「絶版する。デジタルアーカイブ提供を要望」と回答する。
鋼構造建築物における構造設計の考え方と枠組（1999.9.20 出版）
- ・2018 年度大会オーガナイズドセッションは、運営委員会では実施しない。

(3) 小委員会・WG等の報告

- ・資料 02-04～02-13 に基づき、各小委員会・WG等の担当委員から報告があった。

座屈小委員会（資料 02-04 木村委員）

- ・鋼構造の座屈に関する諸問題」の刊行（2021 年度予定）に向け、引き続き検討。
- ・宇佐美委員提案の 2018 年度 PD について議論。
- ・委員交代（2018.4 予定）津田恵吾委員→城戸將江先生（北九州市立大）は運営委員会にて承認された。

接合小委員会（資料 02-05 山田委員）

- ・鋼構造接合部設計指針の改定について検討。
 - ・英文化作業から見えた課題を参考に，“一気通貫でわかり易い”指針を目指す。
 - ・最新情報を反映させる。
 - ・コンクリートにからむ部分の内容を充実させる
 - ・2019.4～ 査読開始予定

素材小委員会（資料 02-06 見波委員）

- ・ハンドブックに関して、引続き検討している。
- ・委員交代 千葉康丈委員→増田克敏氏（中部鋼板）は運営委員会にて承認された。
- ・鋳鉄WG 設計クライテリアなどを検討。

環境小委員会（資料 02-07 兼光）

- ・2018 年度 PD を企画。
- ・東京五輪関係者ヒアリングにて、仮設建築物の構造設計の拠り所となる資料整備の要望あり。整備するための委員会または WG 申請を検討中。

塑性設計小委員会（資料 02-08 五十嵐幹事）

- ・「鋼構造塑性設計指針」の第 4 版改定の議論を引き続き行った。

鋼構造設計規準改定小委員会（資料 02-09 田川委員）

- ・重点審議結果を受け、議論は順調に進んでいる。

鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会（資料 02-10 松本氏（岡崎委員代理））

- ・S 規準は、構造本委員会で承認され、出版準備中。
- ・接合部指針は、英訳全文がほぼそろった。今後、クロスチェック、全体調整を行い、完成させていく予定。
- ・規準指針類の海外発信について、重点審議結果を受け議論した（親規準のあり方など）

各種アンカーボルト設計 WG（資料 02-11 田川委員）

- ・鋼構造運営委員会より、改定小委員会の新規申請を提案予定。

耐火設計関連（資料なし 尾崎委員）

・鋼構造耐火設計指針講習会（6月5日）を実施。参加者数 121名 動画配信 2名。今後、質疑対応を行う予定。

災害委員会（資料 02-13-1～2 兼光（五十嵐幹事代理））

・兼光から災害委員会の報告があった。

(4) 2017年度PDについて

・資料 02-14 に基づき、多田委員より、PDの準備状況の報告があった。資料完成（委員会内回覧）

(5) 2018年度PDについて

・2018年度PDについて、以下3つの企画が提案された。各委員から説明があり議論した。

①外からも分かりやすい鋼構造設計体系を考える－英文化作業から見えてきた問題点－

（資料 02-10 英文化小委員会 松本氏（岡崎委員代理））

②東京五輪を契機として鋼構造の環境配慮設計をどのように次世代に引き継ぐか

（資料 02-16 環境小委員会 兼光）

③鋼構造の変形性能と設計－部材ランクとは－（資料 02-15 宇佐美委員）

結果：運営委員会として、②の提案を検討する。以下、意見を記す。

・①については、重要で、会員の関心が高いテーマと考えられる。英文化作業に拘らず、設計体系のあり方という大きなテーマにしてもよい。十分議論し、再提案してほしい。

・②については、(6)重点審議に記載。

・③については、特に、実務者の関心が高いテーマと考えられる。議論のポイントを明確にし、再提案してほしい。

(6) 重点審議（環境小委員会）

・資料 02-16 に基づき、兼光より説明があった。審議内容は、2018年度PDについて。

・PDの企画に当たり、以下の議論があった。

・2012年PDと今回の違いは何か→過去の議論も振り返りながら、今回の討論目的を明確にする

・五輪のタイミングをうまく活かした企画をする。

・環境関連の指針が実務で普及していかないのは何故か。

・荷重の低減について興味をもつ人は多いと思うが、それだけに議論を集中させないように。

(7) 学会図書の質疑回答の報告

・資料 02-17 に基づき、五十嵐幹事より、質疑回答の状況報告があった。

・回答が遅れている質疑については、五十嵐幹事より回答担当者をお願いする。

(8) 若手優秀発表賞について

・若手優秀発表賞について、メリット・デメリットなどを議論した。

→ 2018年大会からの実施有無は、井戸田主査に一任する。

6. その他

- ・次回運営委員会 後日調整 → 2017年11月15日（水） 13:30-17:00
- ・次回重点審議 後日調整

以上